

市の人口
(平成6年8月1日現在)
世帯数 63,020世帯 (前月比110世帯増)
人口 183,416人 (前月比253人増)
男 90,568人
女 92,848人

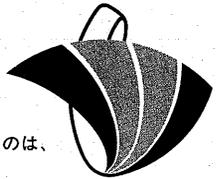
宇治市政だより

8/21
平成6年
(1994年)
第1035号

発行 京都市宇治市
〒611 京都市宇治市
宇治琵琶33番地
☎(0774) 22-3141
編集 広 報 課
●毎月11日・11日・21日発行

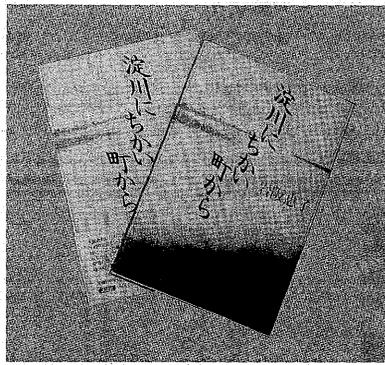
第4回紫式部文学賞 受賞作品決まる

本市のふるさと創生事業として平成2年に創設された「紫式部文学賞」の第4回受賞作品が決まりました。選ばれたのは、岩阪恵子さんの小説「淀川にちかい町から」。受賞式は、11月13日(日)に文化センターで開催されます。



「淀川にちかい町から」 岩阪 恵子さん

大阪の北東部、淀川に近
い大宮町。その辺りにひっ
そりて暮らす、ごくあつう
の人々の過去現在を書く
十の短編からなる下請
鶴子の父親の仕事の立
て替わりの職人としての
職人が、妻と子供を残し
テレビでプロレスを見て
るうちに死んだ。四十歳
を過ぎていた。四十歳



で妻と四歳の娘を失い「な
んでしょっかか」と
不意に嘔吐し「口惜しい」と
娘一人を抱え、細い橋の
一角でどん座を営む美佐
子の店に、月に一度別れた

夫とどん座へ来る。夫
すてはばは再婚して、子
婦といふものはこんなも
のと思ひながら、なんと
な彼を待っている。「おた
ふ」のほかに六編。
大阪の下町に住んでいる
庶民のありふれた生活の中
に過去の時代と現在の哀歌
が雅かに刻み込まれた、味
わい深い作品です。

われきてとどろき思ひま
人々へんとき、たまた
たてうとなく川を眺め
たてはないでしようか
私もんなんひとりです。流
れていく水。そこには目を
わらすにおかれぬ力があ
るうちな気がします。
私と同じように、川を眺
めたであらう数えきれない
ほどの人々のくらしのな
から、幾つかの話をすく
あげたものが、この短編集
です。ここで川は、私の
ふさぎとの近くを流れる淀
川です。

推してくださった 方々に感謝

びわ湖から流れ出た瀬田
川は宇治川と名を変え、や
がて本津川、梓川を合わせ、
淀川という蒼灰色の水をな
らせた川幅の広い流れは入
ります。川のそばには人々

の暮りがあり、暮りし
ながらほろほろと物思
が折れたたまたま、押し込め
てきた。

に第八回野間文芸新人賞
平成四年に第二十回平林た
の子女賞、平成五年に第四十
四回芸術選奨文部大臣賞を
受賞。著書に「ミチの標
本」。「画家小田桐重の肖像」
などがある。
受賞作品は講談社刊。



著者略歴
昭和二十一年、大阪府生
まれ。関西学院大学文学部
史学専攻。東京都東村山市
在住。
昭和五十六年、「噂の鳥か
し」を出版、作家生活に
入る。その後、昭和六十一年

選考経過と 選評

◎選考委員(五十音順・敬称略)

梅原 猛(国際日本文化研究センター所長)

大庭みな子(小説家)

瀬戸内寂聴(小説家)

竹田 青嗣(文芸評論家、明治学院大学教授)

多田道太郎(評論家、京都大学名誉教授)

『紫式部文学賞』は全国

の女性作家による文学作品

を対象に、全国の作家・文

芸評論家・出版社・新聞社

と市民推薦人から、推薦方

式で候補作品を募集してい

た。今回推薦されたのは、五

十一作品。六月に六作品に

絞られ、七月二十六日に開

催された選考委員会で受賞

作品が決定しました。

普段着の中に美意識が 隠れた正統派作品

選考の経過について梅原

猛選考委員長は「六作品に

ついでに絞り込んだ議論

論が行われ、ほかの衝撃力

のある作品もあったが、文

学という点からみると、よ

り優れたという意見が

多く、岩阪恵子さんの作品

に採られたと語り、

同じ受賞作品について

は、「さびかたがえは地

味な作品ですが、大阪の庶

民を突いて細かく味わい深

く描いている。何気ない文

章の中に大変光った行が

ある。普段着の中に美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識

が隠れている。美意識



受賞作品を発表する
梅原 猛 選考委員長
着の中に素朴
らしい美意識
が隠れている。
文壇の正統派
を歩む作品で
ある」と評し
ました。

◆この宇治市政だよりは、再生紙を使っています。限りある資源を大切に◆

府民芸術劇場 空くじサウンドスペシャル

服部克久
東京ポップスオーケストラ

10月13日(日)午後7時～
文化センター大ホール

クラシック・ジャズ・ポピュラー・
映画音楽・叙情歌などから、古今
東西の名曲をお届けします

前売り券は各プレイガイドで好評発売中/
全自由席3000円(当日500円増)

主催：京都市、宇治市、財自治総合センター、財宇治市文化センター
後援：自治省、京都府教育委員会、宇治市教育委員会

宇治市文化センター開館10周年

記念講演会

講師 高坂正堯さん
(京都大学法学部教授)

テーマ：混迷と可能性

10月23日(日) 午後1時半～ 文化センター大ホール

入場無料(整理券必要) 入場整理券は、市役所文化観光課・社会教育課・
生涯学習センター、歴史資料館、東宇治コミュニティセンター、老人福祉センター、
各公民館・図書館・ふれあいセンター・地域福祉センター・プレイガイドにあります
(講演会は、チケット・ぴあとチケット・セゾンでは取り扱っていません)

プレイガイド
宇治市文化センター／宇治市観光協会／宇治市観光案内所(宇治橋西詰、近鉄大久保駅構内)／松下時計店(ボンヌ前)／小山
珠泉堂(西宇治高校正門西)／うさぎ堂(近鉄小倉駅前)／あたりや(瀬島紫ヶ丘団地12丁目)／賞樂家(宇治小学校西)／手至
とカメラのマツモト(御龍山商店街)／宇治書店(宇治橋通り商店街)／富士書房(近鉄久津川駅前)／西小倉コミュニティーセン
ター／アルプラザ城陽(4F)／藤田薬品(宇治田原町)／チケット・ぴあ(ニチイ大久保店ほか)／チケット・セゾン(西友宇治店ほか)

